

セラフレーム製造

セラフレームの製造は、約10工程の検査を繰り返しながら行われます。その全ての工程における検査記録は保管され、さかのぼって工程をトレースしていくことで品質を確実に担保しています。



たゆまぬ努力と挑戦の先に生まれた
世良クオリティ

当社では溶接ロボットのほか、プラズマ切断ロボットを導入しており安定した品質で大量の製品加工を実現しました。

多軸ロボットの切断により角パイプ・形鋼の3次元的な切断加工をいたします。薄板から厚板(60mm)まで加工可能です。

・開先加工 ・孔加工、ハニカム加工 ・欠きこみ加工

代表者 代表取締役 三上正幸

創立 昭和15年6月(法人設立 昭和54年4月)

資本金 1,000万円

営業品目 セラフレーム(鋼製床下梁)、セラポート、鋼構造物の設計・製作・設置工事、建築金物製品製造加工



SERA 世良鉄工株式会社

www.seratekkou.co.jp info@sera-t.jp

本社・工場 / 北海道上川郡当麻町3条西4丁目11-10

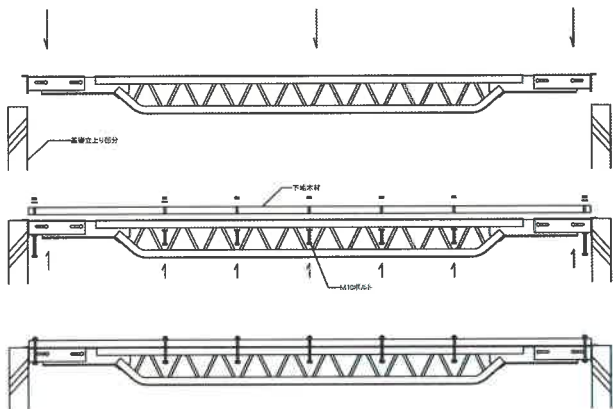
☎(0166)84-3111 FAX(0166)84-5151

セラフレーム規格表

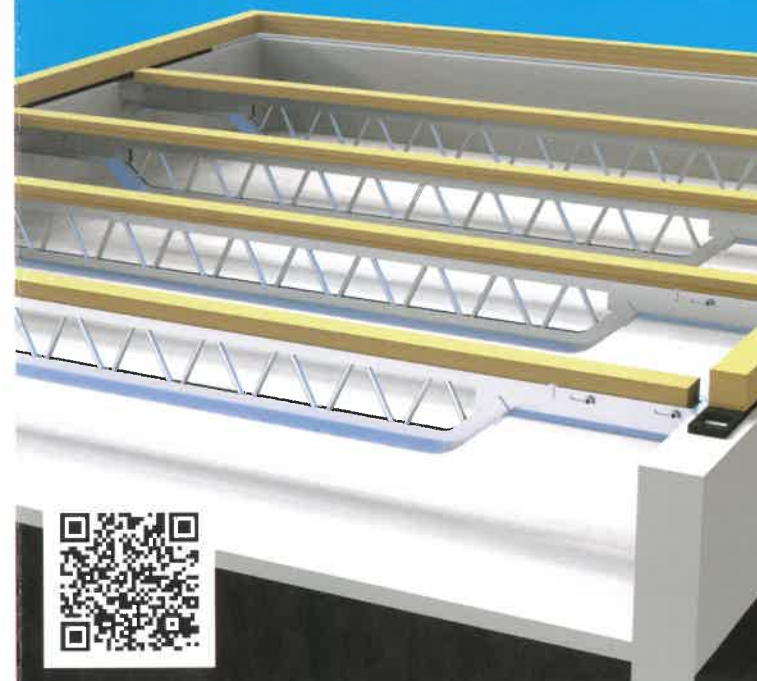
品名	対応寸法最小	対応寸法最長	対応梁間隔
2.25M	1659.5	1,899.5	1820mm
2.50M	1904.0	2,144.0	1820mm
2.75M	2131.5	2,371.5	1820mm
3.00M	2359.0	2,599.0	1820mm
3.25M	2586.5	2,826.5	1820mm
3.50M	2814.0	3,054.0	1820mm
3.75M	3041.5	3,281.5	1820mm
4.00M	3269.0	3,509.0	1820mm
4.25M	3496.5	3,765.5	1820mm
4.50M	3724.0	3,964.0	1820mm
4.75M	3951.5	4,191.5	1820mm
5.00M	4179.0	4,419.0	1820mm
5.25M	4406.5	4,646.5	910mm
5.50M	4634.0	4,874.0	910mm
5.75M	4861.5	5,101.5	910mm
6.00M	5089.0	5,329.0	910mm

※最小・最大寸法については、L + 9mm(梁受金物)となっております。
規格外寸法についても、特寸サイズが選択できます。

セラフレーム取り付け



高規格住宅の建築パーツ
鋼製ラチス梁 セラフレーム

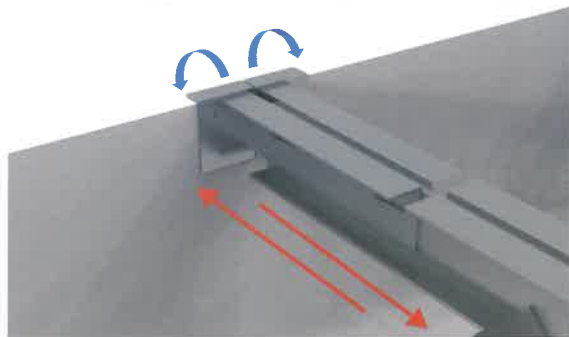


軟弱地盤工法の新提案
基礎設計の概念を変える架け橋

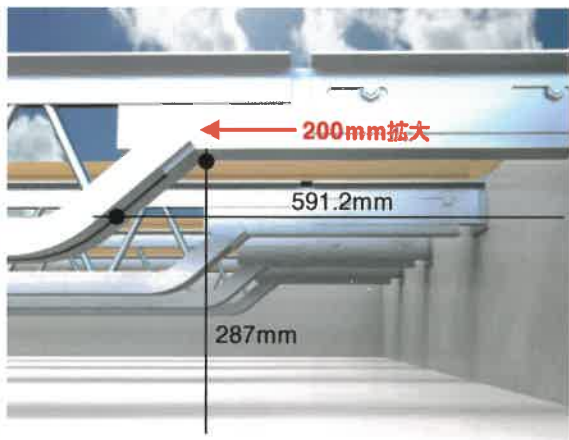
2024
NEW

現場によくなじむ受金物!セラフレーム2024

両端の受金物は片側各60mmスライド調整ができ、2分割形状が基礎になじみやすい構造になっています。



従来製品より端部の人通スペースが幅**200mm拡大**できました。床下移動がより楽になります。



セラフレームの特徴

①地中杭とセラフレーム(鋼製梁)のハイブリット施工

セラフレームは基礎間を橋の様に架け渡すため中間地点には束がないため、荷重がかかりません。床荷重を受けるために通常2mおきに配置される地中杭の本数を削減可能な新しい工法です。

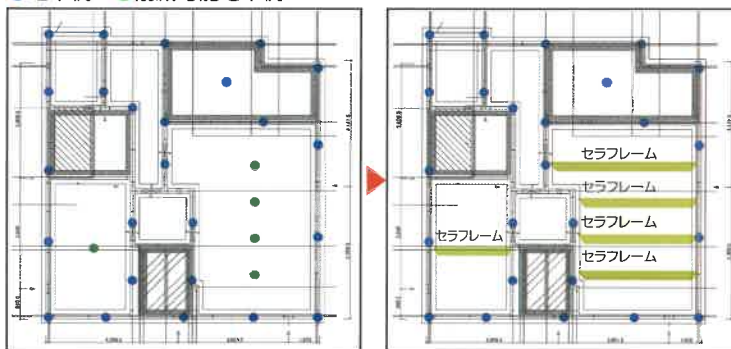
②信頼できる床支持材

製品は建築基準法に基づき、2100N/m²の設計荷重で設計しており、大学による構造試験での実証実験において安全性を確認済みです。

③施工コスト削減の実現

基礎間にセラフレームを架け渡すことで地中杭本数を削減でき、作業時間や工期が短縮できますのでコストダウンが可能になります。

●地中杭 ●削減可能地中杭



※想定建築物/建坪:40坪、鋼管杭:18m、N値:2、粘性土質他、東京都内、総2階建木造住宅

他工法との比較(軟弱地盤工法について)

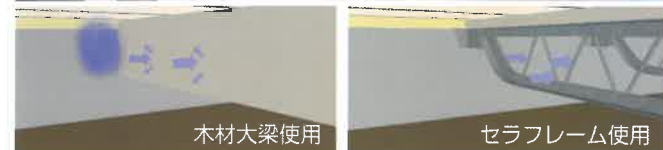
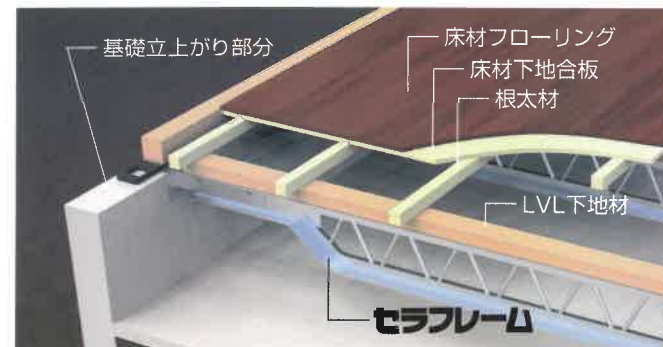
※基礎面積40坪・N値2
粘土質地盤・深さ18mを想定

比較ポイント	鋼管杭工法	
	セラフレームと鋼管杭併用	鋼管杭単体
地中杭本数	25本	30本
配置図面		
地盤改良コスト(平均)※注釈1	230万円	280万円
施工写真		
コストダウン価格※注釈2	50万円	-

※注釈1:鋼管杭工法:7万円/坪、鋼管杭92,000円/本

※注釈2:杭単体価格-セラフレーム併用価格=コストダウン価格

セラフレームを使うメリット



大きな高さの梁を使用すると床下の移動や通気性、配管通路の自在性が悪くなりますが、セラフレームでは端部の人通空間やラチスの隙間によってその弊害を解消できます。

取付施工/4工程5分で施工完了



こんなところに、セラフレームが使われています。

- ① 杭本数の削減によるコスト削減に
- ② 軟弱地盤による地盤の不同沈下対策
- ③ 床下地盤からの湿気による土台木材の腐食対策
- ④ 束石施工を不要とすることで都市部において近年課題となっている建設残土の抑制への有効活用
- ⑤ 束石工事不要による工程短縮による工事コスト削減・納期短縮に効果を発揮

